

教科名		国 語		対象 学年	1 年	週時間	4. 5時間	観点別評価				
使用教科書		「国語1」(光村図書) 「中学書写」(教育出版)		教科 担当	1組:末安 光理、南 穂 2組:末安 光理、南 穂 3組:末安 光理、南 穂 4組:末安 光理、南 穂			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的 に学習 に組み 込む態 度		
補助教材		「意味から学ぶ常用漢字」(第一学習社) 「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版) 「国文法の完成」(日本教材出版) 「新中学問題集発展編」(教育開発出版) 「原色小倉百人一首」(文栄堂) 「中学書写」(教育出版)										
学期	単 元	学 習 内 容	配 当 時 間	評 価 規 準		評 価 方 法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 (1 3 週)	言葉に出会うために	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける 書き留める 言葉を調べる	7	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。読書が、知識や情報を得たり自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 【思・判・表】目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 【態】音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして作文を書こうとしている。	スピーチ・作文		●	●			
		1 学びをひらく	・はじまりの風 ・[聞く]情報を聞き取り、要点を伝える ・話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	8	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 【思・判・表】場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	スピーチ・作文		●	●			
		漢字に親しもう	漢字の組み立てと部首	2	【知・技】学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	授業ノート・プリント		●	●			
		言葉1	音声の仕組みや働き	4	【知・技】音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	授業ノート・プリント		●	●			
		書写1	楷書	6	【知・技】基本点画の筆使いや文字の組み立て方、字形の整え方を的確に捉え、正しい順で書いている。 【態】基本点画や字形の整え方、筆順の重要性を考え意欲的に取り組んでいる。	授業ノート・プリント		●	●			
		1 学期中間考査				1						
		2 新しい視点で	・ダイコンは大きな根? ・ちょっと立ち止まって	8	【知・技】情報と情報との関係、情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。目的や場面にに応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。 【態】文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	スピーチ・作文		●	●			
		情報社会を生きる	・情報整理のレッスン 比較・分類 ・情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	3	【知・技】比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 【思・判・表】目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	授業ノート・プリント		●	●			
		文法への扉	・言葉のまとまり ・言葉の関係を考えよう ・文の組み立て ・単語の性質を見つけよう ・単語の分類	7	【知・技】単語の類別について理解することができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	授業ノート・プリント		●	●			
		3 言葉に立ち止まる	詩の世界 比喩で広がる言葉の世界	4	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 【思・判・表】文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	スピーチ・作文		●	●			
		読書生活を豊かに	読書を楽しむ 本の中の中学生	3	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 【思・判・表】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。 【態】言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	授業ノート・プリント		●	●			
		1 学期期末考査				1						

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2学期 (13週)	4 心の動き	大人になれなかった弟たちに…… 星の花が降るころに	9	【知・技】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 【思・判・表】描写に着目して、登場人物の行動の理由や心情の変化を捉えている。場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 【態】登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	スピーチ・作文	●	●		
						授業ノート・プリント		●	●	
						小テスト/考査	●	●		
		項目を立てて書こう	案内文を書く	2	【知・技】情報を項目ごとに整理することを理解し、案内文の作成に生かしている。 【思・判・表】伝えたい事柄・相手に応じて、必要な情報が明確に伝わるように、項目ごとに整理している。相手が必要とする情報を明確に伝えるために、案内文の構成を考えて書いている。 【態】今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	授業ノート・プリント	●		●	
						小テスト	●		●	
		5 筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を示して説明しよう	9	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章やレポートにまとめようとしている。	スピーチ・作文	●	●		
						授業ノート・プリント		●	●	
						小テスト/考査	●	●		
		話し合い	話題や展開を捉えて話し合おう 話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、もの見方を広げる	4	【知・技】意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。話し合いの話題や展開に沿って、互いの発言を結び付けながら話したり、自分の考えをまとめたりしている。 【態】進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。	スピーチ・作文	●	●		
						授業ノート・プリント		●	●	
		2学期中間考査				1				
		6 いにしへの心に ふれる	いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉	11	【知・技】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。 【態】古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 【思・判・表】場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	スピーチ・作文	●	●		
						授業ノート・プリント		●	●	
						小テスト/考査	●	●		
7 価値を見いだす	「不便」の価値を見つめ直す	8	【知・技】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	スピーチ・作文	●	●				
				授業ノート・プリント		●	●			
				小テスト/考査	●	●				
漢字に親しもう	漢字の音訓	4	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業ノート・プリント		●	●			
				小テスト/考査	●	●				
いつも本はそばに	四百年のスローライフ はやぶさ2 最強ミッションの 真実 読書案内 本の世界を広げよう	4	【知・技】読書の意義（＝読書が知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つこと）を理解している。 【思・判・表】作品を読んで得た疑問や感想を、グループで伝え合う活動を通して、自分の考えを確かなものになっている。 【態】読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	授業ノート・プリント	●	●	●			
書写2	楷書と仮名を調和させる	6	【知・技】平仮名の筆使いや字源を理解し、楷書に調和する仮名の筆使いに気をつけて、字形を整えて書こうとしている。 【態】平仮名の筆使いや筆脈、配列に関する自己の課題を把握し、その解決に向けて意欲的に取り組んでいる。	授業ノート・プリント	●		●			
				作品	●		●			
2学期期末考査				1						

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	3学期 (9週)	8 自分を見つめる	少年の日の思い出	6	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思・判・表】文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 【態】文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。	スピーチ・作文	●	●		
						授業ノート・プリント			●	●
							小テスト/考査	●	●	
			二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう 1年間の学びを振り返ろう さくらのはなびら	6	【知・技】事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。 【思・判・表】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。読み手が状況をイメージできるよう、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。 【態】進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習したことを生かして筆者のものの見方を捉え、随筆を読み味わおうとしている。粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	スピーチ・作文	●	●		
					授業ノート・プリント			●	●	
							小テスト/考査	●	●	
			漢字に親しもう	漢字の音訓	3	【知・技】小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	授業ノート・プリント		●	●
								小テスト	●	●
			文法への扉3	単語の性質	5	【知・技】単語の類別について理解している。 【態】今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。	授業ノート・プリント	●		●
								小テスト/考査	●	
			自分を見つめる	ぼくが ここに	3	【知・技】 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 【思・判・表】 表現や表現技法に着目して読み深めたことを基に、作者の思いを想像し、考えている。 【態】 積極的に比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	授業ノート・プリント	●		●
								小テスト/考査	●	
			書写3	行書	8	【知・技】 行書の特徴を知り、行書の筆使いについて理解し、筆使いを確かめて書いている。 【態】 行書の特徴や筆使いなどを意欲的に知ろうとしている。	授業ノート・プリント	●		●
								作品	●	
	自分を見つめる	学習を振り返ろう	3	【知・技】 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 【思・判・表】 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 【態】 今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。	スピーチ・作文	●	●			
						授業ノート・プリント			●	●
					小テスト/考査	●	●			
		学年末考査	1							

教科名		社 会			対象学年	1 年	週時間	3.5時間	観点別評価			
使用教科書		「中学生の地理 世界の姿と日本の国土」(帝国書院) 「中学校社会科地図」(帝国書院)			教科担当	1組：唐澤 翔太 2組：唐澤 翔太 3組：江藤 徹 4組：藤盛 健裕			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「地理の資料」(正進社) 「徹底演習テキスト(地理)」										
学期	単 元	学 習 内 容	配当時間	評 価 規 準			評 価 方 法					
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 (1 3 週)	世界の姿	導入 地球の姿 世界のさまざまな国々 地球上の位置 地球儀と世界地図の比較	7	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			授業プリント		●	●	
		日本の姿	日本の位置 日本と世界の時差 日本の領域の特色 日本の都道府県 世界の略地図と日本の略地図の描き方	7	日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			授業プリント		●	●	
		1学期中間考査			1							
		世界各地の人々の生活と環境	世界の人々の生活を探る 雪と氷の中で暮らす人々 寒暖の差が激しい土地に暮らす人々 温暖な土地に暮らす人々 乾燥した土地に暮らす人々 常夏の島で暮らす人々 標高の高い土地に暮らす人々 世界に見られるさまざまな気候 人々の生活に根づく宗教	8	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			授業プリント		●	●	
		世界の諸地域	アジア州 アジア州をながめて アジアNIESの成長 巨大な人口を支える中国 都市化が進む東南アジア 急速に成長する南アジア 資源が豊富な西アジア・中央アジア	6	アジア州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色的影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 アジア州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 アジア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 アジア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			授業プリント		●	●	
		世界の諸地域	ヨーロッパ州 ヨーロッパ州をながめて ヨーロッパ統合の動き 持続可能な社会に向けて EUがかかえる課題	6	ヨーロッパ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 ヨーロッパ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ヨーロッパ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			授業プリント		●	●	
		世界の諸地域	アフリカ州 アフリカ州をながめて アフリカの産業と新たな開発 発展に向けた課題	6	アフリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 アフリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 アフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			授業プリント		●	●	
		1学期期末考査			1							

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2学期(13週)	世界の諸地域	北アメリカ州 北アメリカ州をながめて 巨大な農業生産力と移民 巨大な工業生産力 新しい産業と生活文化	6	北アメリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 北アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業プリント		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		世界の諸地域	南アメリカ州 南アメリカ州をながめて 自然環境と共生する生活 開発の進行と影響	5	南アメリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 南アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 南アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業プリント		●	●	
						定期考査	●	●	●	
		世界の諸地域	オセアニア州 オセアニア州をながめて 貿易を通じた他地域とのつながり 人々による他地域とのつながり 世界の諸地域のまとめ「旅行計画書作成」	5	オセアニア州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。 オセアニア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 オセアニア州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業プリント		●	●	
						定期考査	●	●	●	
						表現活動	●	●	●	
		日本のさまざまな地域	地域調査 調査の準備 地形図の読み取り方 デジタル地図の使い方 資料を使った調査	4	地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業プリント		●	●	
						定期考査	●	●	●	
						表現活動	●	●	●	
		日本の地域的特色と地域区分	地形から見た日本の特色 気候から見た日本の特色 自然災害と防災・減災への取り組み 人口から見た日本の特色 資源・エネルギーから見た日本の特色 産業から見た日本の特色 交通・通信から見た日本の特色 日本の地域区分	8	日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを利用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土や各地域の特色を大観し理解している。 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	授業プリント		●	●	
						定期考査	●	●	●	
						表現活動	●	●	●	
		2学期中間考査				1				
		日本の諸地域	九州地方 九州地方をながめて 自然環境に適応する人々の工夫 自然の制約の克服と利用 持続可能な社会をつくる	4	九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 九州地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●	
				定期考査	●	●	●			
				表現活動	●	●	●			
日本の諸地域	中国・四国地方 中国・四国地方をながめて 交通網の整備と人や物の移動の変化 交通網を支える産業とその変化 活用される交通・通信網	4	中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 交通・通信網を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 中国・四国地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●			
				定期考査	●	●	●			
日本の諸地域	近畿地方 近畿地方をながめて 大都市圏の形成と都市の産業 ニュータウンの建設と都市の開発 変化する農村の暮らし	4	近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 近畿地方において、人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●			
				定期考査	●	●	●			
日本の諸地域	中部地方 中部地方をながめて 特色ある東海の産業 特色ある中央高地の産業 特色ある北陸の産業	4	中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 中部地方において、産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●			
				定期考査	●	●	●			
				表現活動	●	●	●			
2学期期末考査				1						

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主な学習内容と授業時数	3学期 (9週)	日本の諸地域	関東地方 関東地方をながめて 世界と結びつく東京 東京を生活圏とする人々の暮らしと交通 関東地方の多様な産業	7	関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●
						定期考査	●	●	●
						発表活動	●	●	●
		日本の諸地域	東北地方 東北地方をながめて 祭りや年中行事の伝統とその変化 伝統工芸品の生産・販売とその変化 過去の継承と未来に向けた社会づくり	6	東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 その他（生活・文化）を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 東北地方において、その他（生活・文化）の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●
						定期考査	●	●	●
		日本の諸地域	北海道地方 北海道地方をながめて 自然の制約に適応する人々の工夫 自然の制約や社会の変化を乗り越える 自然の特色を生かした産業	7	北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 北海道地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	授業プリント		●	●
				定期考査	●	●	●		
		ツアープランコンテスト	日本各地の魅力のプレゼンテーション	6	生徒の主体的な発表学習を通して、日本の地域的な特色を調べ、理解し、他者に伝えることができる。	表現活動	●	●	●
		学年末考査		1					

主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	学期	単元	学習内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
	2 学 期 (1 3 週)	2 学 期	方程式	方程式の解き方 1次方程式の利用 比例式 等式の変形 連立方程式の解き方	14	等式の性質、移項の意味を理解して方程式を解くことができる。 等式の変形ができる。 平行線や角の性質を理解する。 連立方程式の意味を理解し、解くことができる。	単元確認テスト	●	●
課題・レポート								●	●
2学期中間考査							●	●	●
2 学 期		空間図形	いろいろな立体 空間における平面と直線 立体のいろいろな見方 立体の表面積と体積	14	立体の表面積と体積を求められる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						2学期中間考査	●	●	●
2学期中間考査				1					
1 3 週		方程式	連立方程式の利用	5	連立方程式を利用して問題を解決できる。	単元確認テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						2学期期末考査	●	●	●
2 学 期		不等式	不等式の性質 不等式の解き方 不等式の利用 連立不等式	10	不等式の意味を理解し、解くことができる。 不等式を利用して問題を解決できる。 様々な数量を文字を使って表すことができる。 文字式の加法と減法の計算ができる。 文字を具体的な場面で活用できる	単元確認テスト	●	●	●
						課題・レポート		●	●
						2学期期末考査	●	●	●
2 学 期		図形の性質と合同	平行線と角 多角形の内角と外角 三角形の合同 証明	14	平行線や角の性質を理解する。 平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質を知る。 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。	単元確認テスト	●	●	●
	課題・レポート						●	●	
	2学期期末考査					●	●	●	
2学期期末考査				1					
3 学 期 (9 週)	学期	単元	学習内容	配当 時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
3 学 期 (9 週)	1次関数	変化と関数 比例とそのグラフ 反比例とそのグラフ 比例反比例の利用	17	関数の意味を理解することができる。 比例、反比例の意味を理解し、式やグラフを求めることができる。 比例、反比例を利用して問題を解決できる。	単元確認テスト	●	●	●	
					課題・レポート	●	●	●	
					学年末考査	●	●	●	
3 学 期 (9 週)	三角形と四角形	二等辺三角形 直角三角形の合同	17	三角形の合同条件を基にして二等辺三角形の基本的な性質を論理的に理解する。 三角形の合同条件などを基にして直角三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に理解する。	単元確認テスト	●	●	●	
					課題・レポート	●	●	●	
					学年末考査	●	●	●	
学年末考査				1					

教科名		理 科 (物理分野)			対象 学年	1年	週時間	1時間	観点別評価			
使用教科書		「未来へひろがるサイエンス1」(啓林館)			教科 担当	1組:小笠原 東洋 2組:小笠原 東洋 3組:小笠原 東洋 4組:小笠原 東洋			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的 に学習 に取り組 む態度	
補助教材		「中学の物理」(教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学物理」(文理) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」(明治図書)										
学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準			評 価 方 法					
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 (1 3 週)	光の性質	光の進み方 光の反射 光の屈折 凸レンズのはたらき	6	光の散乱と光の色の関係について理解している。光が反射・屈折する際の進み方を理解し、光の道筋を描くことができる。凸レンズの仕組みを理解し、凸レンズを通した光の道筋を描くことができる。			実験レポート	●	●	●	
		1学期中間考査			1				問題集提出			●
		1学期中間考査			1				1学期中間考査	●	●	●
	1 3 週)	音の性質	音の伝わり方 音の大きさや高さ	5	音の伝わり方や性質を理解している。実験を通し音の三要素を理解する。			実験レポート	●	●	●	
		1学期期末考査			1				問題集提出			●
		1学期期末考査			1				1学期期末考査	●	●	●
	学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準			評 価 方 法	【知】	【思】	【態】	
	2 学 期 (1 3 週)	音の性質	音の伝わり方 音の大きさや高さ	6	音の伝わり方や性質を理解している。実験を通し音の三要素を理解する。			実験レポート	●	●	●	
		2学期中間考査			1				問題集提出			●
		2学期中間考査			1				2学期中間考査	●	●	●
力の性質とはたらき		力のはたらき いろいろな力 力の大きさとばねの伸び 力の表し方 重さと質量	5	力とは何かを理解し、力の矢印表示を描くことができる。力の単位を理解する。ばねの伸びとかかる力の関係を理解し、フックの法則を用いた計算をすることができる。いろいろな力を理解する。質量と重力を理解する。			実験レポート	●	●	●		
2学期期末考査			1				問題集提出			●		
2学期期末考査			1				2学期期末考査	●	●	●		
学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準			評 価 方 法	【知】	【思】	【態】		
3 学 期 (9 週)	力の性質とはたらき	力のつりあい	8	力のつりあいに関する身近な現象を調べようとしている。力のつりあいを用いて様々な現象について説明できる。力のつりあいを用いた数値計算ができる。			実験レポート	●	●	●		
	3学期期末考査			1				問題集提出			●	
	3学期期末考査			1				学年末考査	●	●	●	
	学年末考査			1								

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		理科 (化学・地学分野)			対象学年	1年	週時間	2時間	観点別評価		
使用教科書		「未来へひろがるサイエンス1」(啓林館)			教科担当	1組: 関登 2組: 関登 3組: 関登 4組: 関登			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「中学の地学」(教育開発出版) 「中学の化学」(教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学地学」(文理出版) 「系統的に学ぶ中学化学」(文理出版) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」(明治図書)									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期	化学 いろいろな物質	ガスバーナーの使用 有機物と無機物 プラスチックと金属 密度	6	ガスバーナーの仕組みを理解し、正しく使用することができる。 有機物と無機物の特徴を理解する。 プラスチックと金属の特徴を理解する。 密度とは何か理解し、計算することができる。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						中間考査	●	●			
		化学 気体の発生と性質	身の回りの気体 いろいろな気体	6	身の回りに存在する気体(酸素・二酸化炭素・水素・窒素)を発生・分析する実験を通し、その性質を理解する。 よく利用されたり、簡単に発生させられる気体(塩素)・アンモニア・塩化水素)を発生・分析する実験を通し、その性質を理解する。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						中間考査	●	●			
		1学期中間考査		1							
	13週	化学 水溶液	物質の溶解 溶解と物質の粒子 溶解度と再結晶 水溶液の濃度	6	物質の溶解実験を通し、溶質の粒子の性質を理解する。 溶解度の計算と再結晶の現象を理解する。 水溶液の濃度の公式を理解し、計算することができる。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						期末考査	●	●			
		化学 物質の状態変化	状態変化と質量 粒子の運動 温度	6	状態変化している際の温度について理解する。 ワインの蒸留の実験を通し、純物質と混合物の沸点の違いについて理解する。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
					期末考査	●	●				
	1学期期末考査		1								
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2学期	化学 物質の状態変化	温度 蒸留 分離	8	固体から液体、液体から気体への状態変化をさせる実験を通し、状態変化と体積・質量の関係を理解する。 上記の実験を理解する手法として粒子の運動を導入し、理解する。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						中間考査	●	●			
		地学 火山	噴火様式 火成岩 火山のできる場所	5	火山に関する知識を身につけている。 火山のしくみや違いについて、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 火山のしくみや違いについて、積極的に探究しようとする。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						中間考査	●	●			
		2学期中間考査		1							
	13週	地学 火山	マグマの生成 火山と災害	5	火山に関する知識を身につけている。 火山のしくみや違いについて、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 火山のしくみや違いについて、積極的に探究しようとする。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						期末考査	●	●			
		地学 大地の変動	地震発生のメカニズム 震度とマグニチュード	6	地震に関する知識を身につけている。 地震発生のメカニズムや地震波の伝わり方について、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 地震発生のメカニズムについて、積極的に探究しようとする。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
					期末考査	●	●				
	2学期期末考査		1								
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法		【知】	【思】	【態】	
3学期	9週	地学 大地の変動	地震波の伝わり方 震源と震央 地震による災害	8	地震に関する知識を身につけている。 地震発生のメカニズムや地震波の伝わり方について、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 地震発生のメカニズムについて、積極的に探究しようとする。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						期末考査	●	●			
	9週	地学 地層	風化、浸食、堆積 堆積岩 地層の形成と変化	9	地層に関する知識を身につけている。 地層からわかることを、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 地層の形成と変化について、積極的に探究しようとする。	実験レポート				●	
						問題集ノート提出				●	
						期末考査	●	●			
	学年末考査		1								

教科名		理科 (生物分野)		対象学年	1年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書		「未来へひろがるサイエンス1」 (啓林館)		教科担当	1組:塩入 直也 2組:塩入 直也 3組:塩入 直也 4組:塩入 直也			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「中学の生物」 (教育開発出版) 「系統的に学ぶ中学生物」 (文理) 「グラフィックサイエンス最新理科資料集」 (明治図書) 「スクエア最新図説生物」 (第一学習社)								
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法				
主な学習内容と授業時数	1学期 (1週)	身近な生物の観察	ルーペの使い方 顕微鏡の使い方 観察記録のしかた	3	観察記録の仕方などの技能を身につけ、生物の調べ方の基礎を習得している。 観察の手順や顕微鏡のしくみについて、自分の言葉で表現している。 生物の観察を行い、観察器具の操作をしようとする。	実習および課題レポート	●	●	●	
		1学期中間考査		1		問題集・授業プリント・ノート		●	●	
		1学期中間考査		1			●	●		
	1学期 (3週)	身近な生物の観察	ルーペの使い方 顕微鏡の使い方 実体顕微鏡の使い方	8	観察記録の仕方などの技能を身につけ、生物の調べ方の基礎を習得している。 観察の手順や顕微鏡のしくみについて、自分の言葉で表現している。 生物の観察を行い、観察器具の操作をしようとする。	実習および課題レポート	●	●	●	
		1学期期末考査		1		問題集・授業プリント・ノート		●	●	
		1学期期末考査		1			●	●		
	2学期 (1週)	生物の特徴と分類	生物の共通した特徴 分類の仕方	3	分類の仕方を理解することができる。 身近な植物を分類することができる。 植物の分類法を考え、積極的にまとめようとする。	実習および課題レポート	●	●	●	
		2学期中間考査		1		問題集・授業プリント・ノート		●	●	
		2学期中間考査		1			●	●		
		植物の分類	身近な植物の分類 果実を作る花のつくり 裸子植物と被子植物	3	植物の体のつくりとはたらきに関する知識を身につけている。 植物の体のつくりとそのしくみについて、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 植物のつくりやはたらきについて、積極的に探究しようとする。	実習および課題レポート	●	●	●	
		2学期期末考査		1		問題集・授業プリント・ノート		●	●	
		2学期期末考査		1			●	●		
3学期 (9週)	生物の特徴と分類	種子植物 種子を作らない植物の特徴	5	種子植物、胞子で増える植物に関する知識を身につけている。 シダやコケのつくりとはたらきについて、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 植物の分類法を考え、積極的にまとめようとする。	実習および課題レポート	●	●	●		
	2学期期末考査		1		問題集・授業プリント・ノート		●	●		
	2学期期末考査		1			●	●			
3学期 (9週)	動物の分類	身近な動物の分類	8	脊椎動物、無脊椎動物に関する知識を身につけている。 動物の体のつくりについて、科学的に考察し、自分の言葉で表現している。 動物の分類法を考え、積極的にまとめようとする。	実習および課題レポート	●	●	●		
	3学期期末考査		1		問題集・授業プリント・ノート		●	●		
	3学期期末考査		1			●	●			

令和8年度 年間授業計画・評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		音 楽			対象 学年	1 年	週時間	1. 3時間	観点別評価			
使用教科書		「中学生の音楽 1」(教育芸術社) 「中学生の器楽」(教育芸術社)			教科 担当	1組:木下 慶子、秋沢 希 2組:木下 慶子、秋沢 希 3組:木下 慶子、秋沢 希 4組:木下 慶子、秋沢 希			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
補助教材		「クラス合唱用 MY SONG」(教育芸術社)										
学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準		評 価 方 法						
主 な 学 習 内 容 と 授 業 時 数	1 学 期 (1 3 週)	歌唱①	体操・呼吸・発声・指揮の基本 「校歌」 指揮「ぞうさん」「ぶんぶんぶん」	6	体の仕組み、発声の感覚を理解し意識することができる。 歌詞と旋律との関わりを感じながら歌うことができる。 指揮の基本的な技能を習得し、指揮をすることができる。	プリント提出		●	●			
						実技テスト	●	●	●			
						1学期期末考査	●	●	●			
		鑑賞①	「四季」より第一楽章 「春」	2	リトルネッロ形式に注目しながら構造を意識して鑑賞することができる。 楽器編成を理解し、各楽器の音色を感受することができる。	プリント提出		●	●			
						1学期期末考査	●	●	●			
			1学期中間考査		—							
		歌唱②	課題曲の練習	4	指揮者とピアニストを決め、各パートリーダーを中心に音取りし、曲想の表現を深めていく。 歌詞を味わい、イメージを膨らませて歌うことができる。	プリント提出		●	●			
						実技テスト	●	●	●			
						1学期期末考査	●	●	●			
		歌唱③	「夢の世界を」 「赤とんぼ」 「浜辺の歌」	4	楽曲の持っている和声の良さや拍子感を感じながら歌うことができる。	プリント提出		●	●			
						実技テスト	●	●	●			
						1学期期末考査	●	●	●			
		1学期期末考査		1								
学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準		評 価 方 法		【知】	【思】	【態】		
2 学 期 (1 3 週)	2	発表 歌唱④	夏休みの宿題の発表と鑑賞 「夏の思い出」	4	自分で曲や演奏手段を決め、練習し、人に向けて発表することができる。 日本語の発音に注意し、歌詞にふさわしい曲想を工夫することができる。	プリント提出		●	●			
						実技テスト	●	●	●			
						2学期期末考査	●	●	●			
		鑑賞②	「魔王」	2	物語の内容や台詞に伴う音楽表現の豊かさを味わう。 登場人物の役割と声の種類などの関わりについて考える。	プリント提出		●	●			
						2学期期末考査	●	●	●			
		2学期中間考査		—								
	1 3 週	器楽①	箏	5	箏の基本的な技能を習得し、音色を味わいながら演奏することができる。	プリント提出		●	●			
									実技テスト	●	●	●
									2学期期末考査	●	●	●
		歌唱⑤	課題曲・自由曲の練習	5	歌詞の内容を理解し味わい、自分たちの思いを込めて表現することができる。 旋律や歌詞から曲想を感じ取って歌うことができる。	プリント提出		●	●			
						2学期期末考査	●	●	●			
		2学期期末考査		1								
	学期	単 元	学 習 内 容	配当 時間	評 価 規 準		評 価 方 法		【知】	【思】	【態】	
3 学 期 (9 週)	3	鑑賞③	「六段の調」 「巢鶴鈴慕」	2	日本の伝統音楽の特徴を理解する。	プリント提出		●	●			
									学年末考査	●	●	●
	学 期	創作	ことばとリズム	4	リズムの模倣や即興的な表現を通して、創作の基礎になる力を培う。 ことばが本来もっているリズムを感じ取り、楽譜に表すことができる。	プリント提出		●	●			
									実技テスト	●	●	●
									学年末考査	●	●	●
	9 週	卒業式	式歌「旅立ちの日に」 「校歌」	4	歌詞の内容を理解し味わい、自分たちの思いを込めて表現することができる。 旋律や歌詞から曲想を感じ取って歌うことができる。	実技テスト	●	●	●			
								学年末考査	●	●	●	
	学年末考査		1									

教科名		美術			対象学年	1年	週時間	1.3時間	観点別評価		
使用教科書		「美術 1」(開隆堂)			教科担当	廣瀬 直彦			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		なし									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	オリエンテーション	授業の進め方・諸注意、評価について 画材(鉛筆・練り消しゴム)の扱い・技法	1	授業の方法、安全面の注意など理解する。 用途に合わせて、用具・技法を使いこなせる。		授業観察	●	●	●	
		校内スケッチ	コントラスト・タッチ・遠近法・光表現	5	コントラストの意味を理解し、身近にある対象を画面に表現できる。 風景から感じたものを表現する。		授業観察	●	●	●	
		着彩色彩構成	絵の具・筆の扱い方 色彩の基礎的な知識 色の三要素・色環・補色等	2	画材の扱い方を理解し、使いこなせる。 色彩の基礎的な知識を身につける。		授業観察	●	●	●	
		1学期中間考査			—						
		着彩色彩構成	絵の具・筆の扱い方 色彩の基礎的な知識 色の三要素・色環・補色等	8	画材の扱い方を理解し、使いこなせる。 色彩の基礎的な知識を身につける。		授業観察	●	●	●	
		1学期期末考査			1						
2学期(13週)		ステンドグラス	光と影の表現を学ぶ デザイン構成	8	透明感の持つ美しさを理解する。 自身で構想したものを形にする力を身につける。		授業観察	●	●	●	
		2学期中間考査			—						
		ステンドグラス	光と影の表現を学ぶ デザイン構成	8	透明感の持つ美しさを理解する。 自身で構想したものを形にする力を身につける。		授業観察	●	●	●	
		2学期期末考査			1						
3学期(9週)		銅版レリーフ	打ち出し 着色	10	金属の特徴を理解し、彫金の基礎を学ぶ。 用途に合わせて、用具・技法を使いこなせる。		授業観察	●	●	●	
		学年末考査			1						

教科名		保健体育			対象学年	1年	週時間	3時間	観点別評価		
使用教科書		「新編 新しい保健体育」(東京書籍)			教科担当	1組：歳桃 祥志、西村 猛 2組：歳桃 祥志、西村 猛 3組：歳桃 祥志、西村 猛 4組：歳桃 祥志、西村 猛	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
補助教材		「図解保健体育」あかつき									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	1学期(13週)	体づくり運動 集団行動	オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操	11	体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●		
						技能テスト	●	●	●		
						定期考査	●	●			
		陸上競技	短距離走 リレー	6	陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。	ワークシート	●	●	●		
						技能テスト	●	●	●		
						定期考査	●	●			
		器械運動	マット運動	6	器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	ワークシート	●	●	●		
						技能テスト	●	●	●		
						定期考査	●	●			
		1学期中間考査				—					
		保健	心身の機能の発達と心の健康	9	身体には、多くの器官が発育し、それに伴い、様々な機能が発達する時期があること。また、発育・発達の時期やその程度には、個人差があることを理解している。対応した適切な行動が必要となることを理解している。	ワークシート	●	●	●		
						定期考査	●	●			
水泳	クロール 平泳ぎ	6	水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●				
				技能テスト	●	●	●				
				定期考査	●	●					
1学期期末考査				1							
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準		評価方法					
主な学習内容と授業時数	2学期(13週)	水泳	クロール 平泳ぎ	7	水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●		
						技能テスト	●	●	●		
						定期考査	●	●			
		球技	ソフトボール	8	基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	ワークシート	●	●	●		
						技能テスト	●	●	●		
						定期考査	●	●			
		球技	バスケットボール	8	ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●		
						技能テスト	●	●	●		
						定期考査	●	●			
		2学期中間考査				—					
		保健	健康な生活と疾病の予防	7	健康の成り立ちと疾病の発生要因および生活習慣と健康について、理解している。 健康は主体と環境の相互作用のもとに成り立っていることおよび疾病は主体の要因と環境の要因が関わり合って起こることを理解している。	ワークシート	●	●	●		
						定期考査	●	●			
武道	剣道	8	武道に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。互いに助け合い教え合おうとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。	ワークシート	●	●	●				
				技能テスト	●	●	●				
2学期期末考査				1							

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主な学習内容と授業時数	3学期 (9週)	球技	サッカー	7	ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●
						技能テスト	●	●	●
						定期考査	●	●	
		ダンス	現代のリズムダンス	7	ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	ワークシート	●	●	●
						技能テスト	●	●	●
						定期考査	●	●	
		陸上競技	持久走	7	長距離走では、ペースを守って走ることができる。動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●
						技能テスト	●	●	●
						定期考査	●	●	
		体育理論	運動やスポーツの多様性	5	知識 運動やスポーツが多様であることについて理解している。運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	ワークシート	●	●	●
定期考査	●					●			
学年末考査			1						

令和8年度 年間授業計画 評価計画

東京都立富士高等学校附属中学校

教科名		技術・家庭 (技術分野)			対象学年	1年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書		「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology」(東京書籍)			教科担当	1組:柴下 和嘉 2組:柴下 和嘉 3組:柴下 和嘉 4組:柴下 和嘉			知識	思考	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「新技術 家庭 総合資料」(正進社) 「新しい技術・家庭学習ノート 技術分野」(東京書籍)									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法			知識	思考	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期 (1 3 週)	技術分野のガイダンス	身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表する。 技術の発達による生活や産業の変化を調べる。 身の回りの製品などを「技術の見方 考え方」の視点で観察する。 PDCAサイクルに沿って問題解決を行うことを確認するとともに、社会における問題解決も同様の流れであることを知る。3学年間の学習内容を確認し、技術分野の学習を生かして、3年後にできるようになっていたことを内容ごとにまとめる。	1	3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態)	ワークシート	●	●	●			
	身の回りの材料と加工の技術	身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているかを考える。 身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べる。	1	身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。(知)	テスト ノート	●					
	木材、金属、プラスチックの特性	木材、金属、プラスチックの特性について調べる。 木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめる。	1	目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。(知) 工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。(知)	テスト ノート	●					
	材料に適した加工方法	工具や機器を加工の特性や方法に応じて分類する。 材料と目的に応じた工具や機器を選択する。 工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりを調べる。 簡単な加工体験を行う。	1	目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。(知) 工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。(知)	テスト ノート	●					
	丈夫な製品を作るために	製品を丈夫にするための材料と加工の技術の工夫について調べる。 部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考える。	1	身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。(知)	テスト ノート	●					
	1学期中間考査			—							
	材料と加工の技術の工夫を読み取る	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 身近な製品の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。	2	身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気付くことができる。(思) 材料と加工の技術に込められた工夫点について考えている。(思) 主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。(態)	テスト ノート 作品	●	●	●	●		
	問題を発見し、課題を設定しよう	身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つける。 発見した問題を解決するための課題を設定する。	2	「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)	ノート 作品				●	●	
	製作品を構想し、設計しよう	課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化する。 ・機能の検討 ・材料の検討 ・構造の検討 ・加工方法の検討 製作に必要な図に表す。	2	製作に必要な図の描き方を理解している。(知) 製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。(知) 材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。(思)	テスト ノート 作品	●	●	●			
	製作の計画を立てよう	製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備する。 製作工程表を作成する。 工程ごとに使用する工具や機器を調べる。	1	構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。(思)	作品	●	●				
	1学期期末考査			1							
	2 学 期 (1 3 週)	作業手順を考えて製作しよう	切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線をけがく。 材料を切断線にしたがって切断する。 寸法線にしたがって加工する。 加工後、検査・修正し、仮組み立てをする。 組み立てをする。組み立て後、検査・修正する。 素材や用途に合った表面処理をする。	6	安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知)	テスト 作品 ワークシート	●	●	●	●	●
		2学期中間考査			—						
作業手順を考えて製作しよう		切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線をけがく。 材料を切断線にしたがって切断する。 寸法線にしたがって加工する。 加工後、検査・修正し、仮組み立てをする。 組み立てをする。組み立て後、検査・修正する。 素材や用途に合った表面処理をする。	6	安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知)	テスト 作品 ワークシート	●	●	●	●	●	
2学期期末考査			1								

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】
主な学習内容と授業時数	3学期（9週）	問題解決の評価、改善 修正	材料と加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。	3	製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。（思） よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。（態）	作品 ワークシート		●	●
		材料と加工の技術の最適化	自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。 ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性	3	材料と加工の技術の概念について理解している。（知） 材料と加工の技術の最適化について考えている。（思）	テスト ノート	●	●	
		これからの材料と加工の技術	持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考える	2	これからの材料と加工の技術について考えている。（思） よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。（態）	ワークシート		●	●
	学年末考査			1					

教科名		技術・家庭（家庭分野）			対象学年	1年	週時間	1時間	観点別評価		
使用教科書		「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」（東京書籍）			教科担当	1組：田川 奈緒子 2組：田川 奈緒子 3組：田川 奈緒子 4組：田川 奈緒子			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
補助教材		「新技術・家庭 総合資料」（正進社） 「新しい技術・家庭 学習ノート 家庭分野」（東京書籍）									
学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準			評価方法				
主な学習内容と授業時数	1学期（13週）	家庭分野のガイダンス	小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。	1	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。（知） ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。（知） ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。（知）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
								テスト	●	●	
		①どうして食事をするのだろう	食事の役割についてまとめる。	0.5	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。（知）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
						テスト	●	●			
		②私たちの食生活	・食生活を点検し、課題を見付ける。 ・心身の健康に良い食習慣について考える。	0.5	・健康に良い食習慣について理解している。（知） ・自分の食習慣について問題を見い出して課題を設定している。（思） ・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。（態）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
						テスト	●	●			
		③栄養ってなんだろう	・栄養素の種類と働きについてまとめる。 ・体内での水の働きをまとめる。	1	・栄養素の種類と働きについて理解している。（知）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
						テスト	●	●			
		④中学生に必要な栄養	・食事摂取基準から、中学生の時期の栄養の特徴を考えさせる。	1	・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。（知）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
						テスト	●	●			
		①食品に含まれる栄養素	・食品成分表を使い、身近な食品の栄養的特徴を調べる。 ・食品の可食部100gと1回に食べやすい量に含まれるカルシウムの量の違いを把握する。	1	・身近な食品の栄養的特徴について理解している。（知）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
						テスト	●	●			
		1学期中間考査			—						
		②何をどのくらい食べればよいか	・身近な食品を栄養的特徴により6つの食品群に分類する。 ・食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量を知る。	1	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。（知）	ワークシート	●	●	●		
						ノート			●		
				テスト	●	●					
③バランスの良い献立作り	・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。	2	・1日分の献立作成の方法について理解している。（知） ・1日分の献立について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●				
				ノート			●				
				テスト	●	●					
①食品の選択と購入	・食品を選択する観点について知る。 ・食品の表示について調べ、まとめる。 ・用途に応じた食品の選択について考える。	2	・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。（知） ・食品の選択について、問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（思） ・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（態）	ワークシート	●	●	●				
				ノート			●				
				テスト	●	●					
②生鮮食品の特徴 ③加工食品の特徴	・生鮮食品、加工食品それぞれの特徴と表示の内容、品質の見分け方を知る。	2	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。（知）	ワークシート	●	●	●				
				ノート			●				
				テスト	●	●					
1学期期末考査			1								

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2学期 (13週)	④食品の保存と食中毒の防止	・食品のさまざまな保存方法を知る。 ・食中毒の防止について考える。	1	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。(知)	ワークシート・ノート	●	●	●	
						実習	●		●	
						テスト	●	●		
		①日常食の調理	・献立を決め、食品の調理上の性質を生かした調理の要点をまとめる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。 ・調理実習の準備をする。	4	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。(知) ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知) ・日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し、実践に向けた計画を考え、工夫している。(思) ・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)	ワークシート・ノート	●	●	●	
						実習	●		●	
						テスト	●	●		
		2学期中間考査				—				
		④魚の調理 ③肉の調理 ②野菜・いもの調理	・魚、肉、野菜それぞれの調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気を付けて、野菜・いもの調理をする。	3	・肉・魚・野菜・いもに適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。(知) ・肉・魚・野菜・いもの調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・肉・魚・野菜・いもの調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)	ワークシート・ノート	●	●	●	
						実習	●		●	
						テスト	●	●		
⑤日本の食文化と和食の調理	・地域の食材や季節の食材について調べる。 ・地域の食文化について調べる。 ・地域の食材を用いた和食の調理をする。	4	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。(知) ・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)	ワークシート・ノート	●	●	●			
				実習						
				テスト	●	●				
2学期期末考査				1						
	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
学習内容と授業	3学期 (9週)	⑥持続可能な食生活を目指して	・食生活を取り巻く問題を把握し、持続可能な食生活のためにできることを考える。	4	・持続可能な食生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。(思) ・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。(態)	ワークシート	●	●	●	
						ノート			●	
						テスト	●	●		
		生活の課題と実践	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか、自分や家族の食生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたるための工夫を考	4	・自分や家族の食生活や消費生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(思) ・自分や家族の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(態)	ワークシート	●	●	●	
						ノート			●	
						テスト	●	●		
学年末考査				1						

	学期	単元	学習内容	配当時間	評価規準	評価方法	【知】	【思】	【態】	
主な学習内容と授業時数	2学期 (13週)	NEW TREASURE Lesson5	所有代名詞 Whose…? How…? Who…? Which…?	8	所有代名詞や疑問詞を用いた文の形、意味、用法を理解している。 あるものが誰のものかについて、whoseなどを用いて、理解したり伝えたりする技能を身に付けている。持ち主が誰であるかを知るために、誰のものかについての対話の情報を聞き取ったり、読み取ろうとしている。	定期考査、小テスト	●	●		
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW TREASURE Lesson6	命令文 can	9	命令文やcanを用いた文の形 意味 用法を理解している。 自分ができることについて、canなどを用いて、尋ねたり答えたりする技能を身に付けている。 お互いができることを伝え合うために、お互いのできることにについて、簡単な語句や文を用いて、尋ねたり答えようとしている。	定期考査、小テスト	●	●		
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW HORIZON1 Unit 4 Friends in New Zealand	命令文 What time…? What+名詞…?	5	指示や助言、時刻、相手の好きなものについて、学んだ言語材料を用いて、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。 道案内するために、また時刻などを知るために、簡単な語句や文を用いて、情報を即興でたずねたり答えたりしている。	定期考査、小テスト			●	
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW HORIZON1 Unit 5 My Brother in Hawaii	一般動詞3人称単数を用いた平叙文、否定文、疑問文	5	三人称単数現在形の文の理解をもとに、自分と相手以外の人やものなどについてたずねたり答えたりする技能を身に付けている。 クラスメートなど身近な人の魅力をほかの人に知ってもらうために、その人について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	定期考査、小テスト			●	
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		2学期中間考査				1				
		NEW TREASURE Lesson7	現在進行形	9	現在進行形を用いた文の形、意味、用法を理解している。 今していることについて、現在進行形などを用いて、尋ねたり答えたり、その状況を書いたりする技能を身に付けている。 現在の状況を知るために、人が今していることについて、簡単な語句や文を用いて、尋ねたり答えたりしている。 現在の状況を知るために、人が今していることについて、簡単な語句や文を用いて、尋ねたり答えようとしている。	定期考査、小テスト	●	●		
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW TREASURE Lesson8	一般動詞の過去形	9	一般動詞の過去形を用いた文や感嘆文の形、意味、用法を理解している。 過去の出来事について、自分がしたことを過去形などを用いて、伝え合う技能を身に付けている。 最近の出来事を伝えるために、自分がしたことをについて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査、小テスト	●	●		
						提出物			●	
					パフォーマンステスト		●	●		
NEW HORIZON1 Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K.	一般動詞の疑問文 Whoseを使った疑問文の作り方と答え方 Whichを用いた疑問文	6	代名詞や疑問詞whose、whichを用いた文の理解をもとに、人やものについてたずねたり答えたりする技能を身に付けている。 自分と相手以外の人やもの持ち主などについて知るために、有名人やキャラクターについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	定期考査、小テスト			●			
				提出物			●			
					パフォーマンステスト		●	●		
NEW HORIZON1 Unit 7 An Online Tour of the U,K,	現在進行形の平叙文、疑問文、感嘆文	6	現在進行形を用いた文や感嘆文の理解をもとに、人が今していることについてたずねたり答えたり、感動や驚きの気持ちを伝え合う技能を身に付けている。 相手に学校や町の雰囲気を知ってもらうために、生活の一場面で行っていることや感動や驚きの気持ちを、写真や動画を見せながら、事実や気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で話そうとしている。	定期考査、小テスト			●			
				提出物			●			
					パフォーマンステスト		●	●		
2学期期末考査				1						
主な学習内容と授業時数	3学期 (9週)	NEW TREASURE Lesson8	一般動詞の過去形	9	一般動詞の過去形を用いた文や感嘆文の形、意味、用法を理解している。 過去の出来事について、自分がしたことを過去形などを用いて、伝え合う技能を身に付けている。 最近の出来事を伝えるために、自分がしたことをについて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査、小テスト	●	●		
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW TREASURE Lesson9	be動詞の過去形	9	過去進行形を用いた文や感嘆文の形、意味、用法を理解している。 過去の状態について、be動詞の過去形などを用いて、伝え合う技能を身に付けている。 自分の過去の状態を伝えるために、自分の過去の状態について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査、小テスト	●	●		
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW TREASURE Lesson10	be going to /助動詞	6	be going to を用いた文の形、意味、用法を理解している。 Be going to などを用いて、伝え合う技能を身に付けている。自分の未来の状態について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査、小テスト			●	
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW TREASURE Lesson11	There is(are) の文	5	There is (are)を用いた文の形、意味、用法を理解している。 習った表現 などを用いて、伝え合う技能を身に付けている。モノの存在について、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査、小テスト			●	
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		NEW TREASURE Lesson12	比較文	5	比較を用いた文や感嘆文の形、意味、用法を理解している。 比較の表現などを用いて、伝え合う技能を身に付けている。 2つ以上のものの比較について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査、小テスト			●	
						提出物			●	
							パフォーマンステスト		●	●
		学年末考査				1				